平成27年1月26日

山梨大学(武田1)小体育館便所改修工事　　質疑に対する回答について

No	図面番号	質　疑　事　項	No	回　　答
1	A-02	女子トイレ壁、ベントキャップ用開口ですが、ベントキャップ本体は別途工事で宜しいですか。		よろしい。
2	A-02	トイレ壁仕上げ材ですが、硬質セメント板t=5.0とありますが化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0でも宜しいですか。		図面通り硬質セメント板t=5.0とする。
3	A-02	産廃物発生の抑制及び工期短縮の為、既設壁のタイルは撤去しないで仕上げ材直貼りでも施工可能なので、既設タイル壁の上仕上げ材直貼りでも宜しいですか。		室内の幅確保のため、図面通り撤去とする。
4	A-03	LSD1ですが枠の仕上げは、塗装、焼付塗装か指示願います。		焼付塗装とする。
5	A-03	あと施工アンカーは金属系アンカーで宜しいですか。		接着系アンカーとする。
6	A-03	和式便所開口部補強筋ですが、溶接を行うと、鉄筋の断面欠損が 生じるので、結束でも宜しいですか。		重ねアーク溶接(片面フレア溶接)とすること。
7	A-03	男女便所、土間コンクリートですが、Fc=21KNとありますが温度・品質補正をしFc=27KNで施工しますか。指示願います。		呼び強度21kNとする。
8	A-03	既設土間モザイクタイルですが、撤去しないで土間コンクリートを打設でも宜しいですか。		よろしい。
9	A-02	既存内壁の外壁側下地構成は鉄骨胴縁の上、ラスカット+モルタル+タイルで、道場側内壁は木下地+ラスカット+モルタル+タイルの構成で宜しいでしょうか。		よろしい。
10	A-02	照明器具類の天井下地補強は必要ありませんか。		不要である。